

教育機関向け試験費用

試験名称	試験概要	装置スペック	機器使用料	オペレータ料※3 (試験監督料※4)	備考
衛星電波予備試験	・搭載アンテナからの放射パターン形状測定 ・電磁適合性(EMC)試験のうち、エミッション試験	3m法電波暗室 電波吸収体内寸6.0mx5.2mx5.0m	10,000円/日	20,000円/日	消耗品費用(実費)を別途徴収※1 オペレータは九工大のみ
振動試験	ロケット打ち上げの際の振動に耐えられることを検証する	センサーは24chまで 25ch以上は要相談	15,000円/日	30,000円/日 (10,000円/日※4)	消耗品費用(実費)を別途徴収※1 クリーンブース使用の場合※2 ISO-17025試験報告書発行の場合※6
衝撃試験	ロケットから切り離す際の際の分離衝撃に耐えられることを検証する	10cm級、50cm級の衝撃試験	20,000円/日	30,000円/日 (10,000円/日※4)	消耗品費用(実費)を別途徴収※1 クリーンブース使用の場合※2
熱真空試験(大)	軌道上で予測される条件より厳しい温度環境条件下で、衛星が性能を発揮できることを検証する 衛星の熱設計の妥当性の確認及び熱数学モデルの検証を行なう	シュラウド内径1.5m、到達圧力1.0x10 ⁻⁵ Pa、液体窒素シュラウド付き	12,000円/日	30,000円/日 (10,000円/日※4)	消耗品費用(実費)を別途徴収※1 クリーンブース使用の場合※2 試験スケジュールの調整について※5
熱真空試験(小)	軌道上で予測される条件より厳しい温度環境条件下で、衛星が性能を発揮できることを検証する 衛星の熱設計の妥当性の確認及び熱数学モデルの検証を行なう	試験可能サイズ15cm x 15cm x 30 cm、到達圧力1.0x10 ⁻⁵ Pa、液体窒素シュラウド付き	12,000円/日	30,000円/日 (10,000円/日※4)	消耗品費用(実費)を別途徴収※1 クリーンブース使用の場合※2 試験スケジュールの調整について※5
熱サイクル試験(大)	衛星および衛星部品に対して高温と低温に繰り返し曝す事で、供試体の耐久性を検証する試験	-190℃から200℃まで試験可能。温度プロファイルについては任意のプロファイルが設定可能	12,000円/日	10,000円/日 (5,000円/日※4)	消耗品費用(実費)を別途徴収※1 試験スケジュールの調整について※5
熱サイクル試験(小)	衛星および衛星部品に対して高温と低温に繰り返し曝す事で、供試体の耐久性を検証する試験	-190℃から200℃まで試験可能。温度プロファイルについては任意のプロファイルが設定可能	12,000円/日	10,000円/日 (5,000円/日※4)	消耗品費用(実費)を別途徴収※1 試験スケジュールの調整について※5
真空中機能試験	衛星に使用する部品、素子等の真空環境下で動作することを検証する	到達圧力5.0x10 ⁻⁵ Pa	5,000円/日	10,000円/日 (5,000円/日※4)	消耗品費用(実費)を別途徴収※1 試験スケジュールの調整について※5
アウトガス試験	ASTM E-595に準拠したアウトガス測定を実施する	ASTM E-595に準拠	100,000円/回	50,000円/種	消耗品費用は機器使用料に含む 機器使用料に加え50,000円/種を加算。 1回につき4種まで測定可能。イレギュラーなサンプルの依頼・サンプルの情報開示が不可などその他の場合、単価は割り増し料金(×2)とする。 1種はN=3とし、異なるN数を希望する場合はサンプル種類数をM、1種類当たりの検体数をNとすると ・M×Nの値が12を超えると、12毎に再度、機器使用料が必要 ・N=3以外の場合、M×N÷3の数値の小数点以下を切り上げた整数値を単価に掛ける。 オペレータは九工大のみ 納期:測定1回につき1か月以上
熱光学特性試験	太陽光吸収率および垂直放射率の測定	測定波長範囲 太陽光吸収率:0.25~2.5 μm 垂直放射率:2.5~100 μm	α装置、20,000円/回 ε装置、20,000円/回	15,000円/データ 1検体につきαを2回、εを2回測定の場合、15,000×4+20,000×2=100,000円 1回につき6データまで測定可能。イレギュラーなサンプルの依頼・サンプルの情報開示が不可などその他の場合、単価は割り増し料金(×2)とする。 オペレータは九工大のみ 納期:測定1回につき1か月以上	消耗品費用は機器使用料に含む 機器使用料に加え15,000円/データを加算。1検体につきαを2回、εを2回測定の場合、15,000×4+20,000×2=100,000円 1回につき6データまで測定可能。イレギュラーなサンプルの依頼・サンプルの情報開示が不可などその他の場合、単価は割り増し料金(×2)とする。 オペレータは九工大のみ 納期:測定1回につき1か月以上
衛星組立室 (クリーンルーム)	衛星組立室の利用料		4,000円/日		

利用料金は予告なく改訂することがあります。

※1: 消耗品費用とは液体窒素、専用治具の作成、センサー類の追加分等を指します。

※2: クリーンブース使用の場合、クリーンブース使用料で10,000円/回を料金として計上する。(この中にはクリーンブース用作業服のクリーニング費用、各消耗品等を含む)

※3: オペレータ料は、九工大職員に機器の操作を依頼する場合に徴収します。尚、1名当たり1日8時間を基本としています。

※4: 九工大職員がオペレータ技術を教育して技術取得を認めた場合に限り、機器使用料+試験監督料のみで試験を行うことができることとする。(技術取得の費用はオペレータ費用と同等とする。)

※5: 真空チャンバー利用時の真空引き~LN2の初期投入、及び真空戻し~チャンバー開放作業は土日、休日にかからないようにスケジュールを立てて下さい。

※6: ISO-17025:2017(試験所認定)に基づいた試験報告書を発行する場合は発行手数料として20,000円を料金として計上する。